

Quest®



KACE®システム管理アプリケーション9.1

リリースノート



目次

| | |
|---|----|
| Quest® KACE®システム管理アプライアンス9.1リリースノート..... | 3 |
| KACEシステム管理アプライアンス9.1について..... | 3 |
| 新機能と強化点..... | 3 |
| サービスデスク機能..... | 3 |
| 資産管理機能..... | 4 |
| エンドポイント通信機能..... | 4 |
| インフラストラクチャ機能..... | 5 |
| 解決済みの問題..... | 5 |
| 既知の問題..... | 9 |
| システム要件..... | 11 |
| 製品ライセンス..... | 11 |
| インストール手順..... | 11 |
| 更新の準備..... | 12 |
| アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート..... | 12 |
| アップデートの手動によるアップロードと適用..... | 13 |
| アップデート後のタスク..... | 13 |
| 正常に完了していることの確認..... | 13 |
| セキュリティ設定の確認..... | 14 |
| 追加のリソース..... | 14 |
| グローバル化..... | 15 |
| 当社について..... | 15 |
| テクニカルサポートのリソース..... | 15 |
| 法的情報..... | 16 |

Quest® KACE®システム管理アプライアンス9.1リリースノート

このリリースノート文書は、KACE システム管理アプライアンス (SMA) バージョン 9.1 に関する情報を提供します。

KACEシステム管理アプライアンス9.1について

KACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、物理 / 仮想アプライアンスです。KACE SMA シリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/> をご覧ください。

新機能と強化点

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

サービスデスク機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のサービスデスク機能と拡張機能を備えています。

- チケットのマージ機能：関連するチケットを個別に管理する代わりに、複数のチケットを単一のチケットにマージし、その 1 つのチケットを継続的に管理できます。チケットをマージできるのは、チケットが同じキューに属しており、チケットのアーカイブが有効になっている場合のみです。この方法で作成されたチケットは、マージされたチケットのチケット履歴を失うことはありません。チケットをマージする場合は、マスターチケットを選択する必要があります。残りのチケットは自動的にアーカイブされます。マージされたチケットに関連するすべての履歴は同じままです。チケット履歴には、チケットがいつマージされたかも示されます。サービス、親、子、および以前にマージされているチケットはマージできません。必要に応じてマージされているチケットを分離することができます。チケットをマージするには、チケットリストまたはチケットの詳細ページを使用します。
- チケットフィールドおよびチケット関連の受信 E メールでのリッチテキストのサポート：このリリースから、チケットの概要、コメント、および解決フィールドのコンテンツをフォーマットするために編集オプションを使用できます。新しいエディタには、太字のテキストの適用、画像やリンクの追加、ファイルの添付、ビデオの埋め込みを行うためのあらゆるテキスト編集オプションが用意されています。また、HTML タグを使用するチケット関連の受信 Eメールのコンテンツが、関連するチケットで HTML 形式で表示されます。
- 重複する E メールアドレスに対するキュー設定の警告：新しいキューは、それぞれ独自の E メールアドレスを使用する必要があります。すでに別のキューに関連付けられている E メールアドレスを指定すると、警告が表示され、キューの E メールアドレスを編集できるようになります。

資産管理機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下の資産管理機能を備えています。

- 場所の詳細 に追加される関連資産：関連するデバイスに加えて、場所の詳細 ページに、選択した場所に関連付けられている資産が一覧表示されるようになりました。必要に応じて、新しい資産またはデバイスを特定の場所に追加できます。

エンドポイント通信機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のエンドポイント通信機能と拡張機能を備えています。

- KACE Cloud Mobile Device Manager (MDM) との継続的な統合：デバイスの詳細 ページの インベントリ情報 グループがこのバージョンで更新され、KACE MDM デバイスから収集された拡張フィールドセットが含まれるようになりました。
 - アクティベーションロックのバイパスコード
 - 監視付きアクティベーションロックを許可
 - DEP 管理対象
 - DEP プロファイル
 - 次によって割り当てられた DEP プロファイル
 - DEP プロファイル割り当て日
 - DEP プロファイルステータス
 - 設定されたデバイス
 - 応答不可
 - Exchange デバイス ID
 - 最初の登録
 - iCloud が有効
 - 最後の iCloud バックアップ
 - iTunes にログイン
 - Wi-Fi 受信済み
 - Wi-Fi 送信済み
 - WWAN 受信済み
 - WWAN 送信済み
- デバイスの問題の識別：アプライアンスは、KACE SMA エージェントを使用して、組織内のエージェント管理デバイスから情報を収集します。デバイスのエージェントへの接続で問題が発生した場合、またはその環境に関連するその他の問題が発生した場合、アプライアンスはそのデバイスのインベントリ情報を取得できません。このリリースで追加された デバイスの問題 リストページには、次のいずれかの問題が原因でインベントリに情報が表示されないエージェント管理デバイスが表示されます。
 - WMI (Windows Management Instrumentation) の破損です。
 - デスクトップのヒープが枯渇状態です。



ヒント: ほとんどの場合、この問題はデバイスを再起動するだけで解決できます。

- amp.conf への書き込みに失敗しました。

これらの問題の詳細については、「<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/kb>」を参照してください。

インフラストラクチャ機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のインフラストラクチャ機能と拡張機能を備えています。

- アプライアンスチャット拡張機能: このバージョンでは、アプライアンスチャットが更新され、指定どおりに、チャットの目的に関連する既存のサポート技術情報記事のリストが表示されるようになりました。必要な情報が記載されている記事が表示されない場合は、製品スペシャリストとチャットを続けることができます。
- Samba v1 のサポートの停止: アプライアンスは、Samba v1 プロトコルのサポートを終了しました。サポートされる最小バージョンは 2.0 です。
- KACE エージェントツールキット (KAT) へのアクセス: KAT (以前の KaptureState) へのリンクが、システム管理コンソールのサポート ページに追加されました。<https://support.quest.com/kb/234337> にある KaptureState ユーティリティについて説明するサポート技術情報記事は適用されなくなり、レガシーとしてマークされています。
- Microsoft Azure のサポート: このリリースから、アプライアンスは Azure クラウドで起動および実行できるようになりました。このアプライアンスは、Azure Marketplace から入手可能となり、ビジネスニーズに応じて選択可能ないくつかのディスクサイズで提供されています。
- SSO による AES 暗号化のサポート: 以前に SSO を有効にしている場合は、ドメインからデバイスを削除してから再度参加して、この変更を有効にする必要があります。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

| 解決済みの問題 | 問題 ID |
|--|----------|
| 新しい Mac プラットフォームで、アプライアンスにアップロードされた inventory.xml ファイルに Mac BIOS フィールドが生成されていませんでした。 | K1-20361 |
| ユーザー自身がマネージャであるときに KACE GO アプリにログインすると、エラーが発生することがありました。 | K1-20306 |
| 削除されているユーザーが作成した応答テンプレートを削除できませんでした。 | K1-20300 |
| ソフトウェアリクエストタイプのプロセスで、E メールによるプロセス承認が正しく機能しませんでした。 | K1-20292 |
| KACE GO で、サポート技術情報 (KB) 記事の添付ファイルが正しく表示されないことがありました。 | K1-20291 |

| 解決済みの問題 | 問題 ID |
|---|----------|
| 不明なユーザーからの E メールで、差出人または返信先のフィールドに重複する E メールアドレスがあるため、チケットまたは新規ユーザーを作成できないことがありました。 | K1-20289 |
| マルチ組織アプライアンスで、シングルサインオン (SSO) が期待どおりに動作しないことがありました。 | K1-20276 |
| 英語以外のロケールを使用している場合に、デバイスの詳細 ページに アクションの選択 の Wake-On LAN オプションが表示されませんでした。 | K1-20274 |
| 新しい組織の作成時に、管理者アカウントでログインできませんでした。 | K1-20266 |
| 親または子のデフォルト所有者で作成されたプロセスワークフローの最初の E メールが送信されませんでした。 | K1-20265 |
| UNION 句の後に括弧を使用すると、未処理の SQL レポートが空白で出力されません。 | K1-20261 |
| デフォルト以外のテーマで、URL の変更 (/systemui など) によってポータル間を移動すると、エラーが発生することがありました。 | K1-20258 |
| エージェントのアップデート ページの Raspbian エージェントのダウンロードリンクが /userui にリダイレクトされました。 | K1-20257 |
| NAT (ネットワークアドレス変換) アドレスが使用されたときに、IP アドレスに基づく組織フィルタのテストが失敗しました。 | K1-20255 |
| 組織 LDAP フィルタの詳細 ページの テスト ボタンでエラーが発生する場合があります。 | K1-20253 |
| OS ピッカーで、Mac OS 10.14 Mojave が Other (その他) の下に表示されました。 | K1-20248 |
| Urgent Announcement (緊急の告知) セクションで、詳細を表示 リンクアイコンが壊れていました。 | K1-20215 |
| マシンリストを取得する API コールが、予想するようにエージェント管理デバイスを返しませんでした。 | K1-20178 |
| 多数の子チケットを持つ親チケットの詳細を表示できませんでした。 | K1-20133 |
| 毎日のセキュリティ出力 E メールには、無視すべき誤った警告が含まれている可能性があります。 | K1-20113 |
| マシンに割り当てられなくなった kbot 要素をエージェントがクリーンアップしなかったため、ディスク領域が不要に使用される可能性があります。 | K1-20111 |
| パッチファイル名にスペースが含まれていた場合、レプリケーションが失敗しました。 | K1-20108 |
| サービスデスク: カテゴリのデフォルト所有者は、チケット所有者が再割り当てされた後も E メールを受信し続けました。 | K1-20107 |

| 解決済みの問題 | 問題 ID |
|--|----------|
| チケットキューの CC リストが考慮されない場合があります。 | K1-20105 |
| LDAP Smart Label およびフィルタを使用すると、ユーザーログインが妨げられることがあります。 | K1-20099 |
| LDAP ユーザーのインポート中に、マネージャ情報が見つかりませんでした。 | K1-20096 |
| 表示されるタスクスケジュールは、タスクの変更日より前に実行されます。 | K1-20094 |
| Wake On LAN のスケジュール設定で、「実行間隔」または「実行基準」スケジュールの、時間または分が表示されませんでした。 | K1-20085 |
| 24 台を超えるデバイスでオンラインシェルスクリプトを実行中に、メモリーエラーが発生しました。 | K1-20018 |
| VMware デバイスのコマンドによって、適切なエラーメッセージが返されないことがあります。 | K1-20009 |
| 組織単位でのカタログインベントリのカスタム間隔セットは、考慮されない場合があります。 | K1-20000 |
| 資産ステータスが 契約 リストページの 特定基準で表示 オプションに表示されませんでした。 | K1-19995 |
| パッチダウンロードスケジュールが、パッチダウンロード設定 ページで要求された頻度よりも頻繁に動作することがありました。 | K1-19993 |
| 組織フィルタが機能しなかったため、デバイスが誤ってデフォルト組織に配置されました。 | K1-19983 |
| リストページの表示中に、DataTables 警告が表示されることがありました。 | K1-19980 |
| ユーザーインポートで既存ユーザーの属性が表示されませんでした。 | K1-19978 |
| SSL を有効にすると、kbot のアップロード後に Curl タイムアウトが表示されることがありました。 | K1-19972 |
| CC またはカテゴリ CC リストのユーザーは、ユーザーの E メール文字 (大文字 / 小文字) が一致しなかった場合は、チケットにアクセスできませんでした。 | K1-19968 |
| サービスデスク: 手動日付ピッカーがロケールの変更を考慮しませんでした。 | K1-19967 |
| 不明なユーザーからの E メールを許可 オプションが選択されなかった場合に、「不明な E メールアドレス応答」テンプレートで送信できないことがありました。 | K1-19963 |
| マイプロファイルが ticket.php で使用されたときに、ドロップダウンがネストされているカテゴリが正しく表示されないことがありました。 | K1-19962 |
| ウィザードによって作成されたシステム管理コンソールのレポートが期待どおりに動作しない場合があります。 | K1-19947 |

| 解決済みの問題 | 問題 ID |
|---|----------|
| 複数選択ドロップダウンオプションがあるページが正しく印刷されませんでした。 | K1-19945 |
| SSO Kerberos で、最新の AES (Advanced Encryption Standard) 暗号の代わりに古い RC4 (Rivest Cipher 4) が使用されました。 | K1-19938 |
| 2 番目の「実行基準」オプションを使用した場合、パッチスケジュールのタイムゾーン設定が正しくない可能性があります。 | K1-19937 |
| サブスクリプションに含まれていないパッチが、パッチのダウンロード後に誤って再アクティブ化される可能性があります。 | K1-19934 |
| 何千ものバーコードが存在する場合、資産の削除に非常に長い時間がかかることがあります。 | K1-19923 |
| ユーザーポータル「Urgent Announcement」(緊急の告知) メッセージに、詳細を表示 アイコン (矢印) がありませんでした。 | K1-19919 |
| 資産の高度な検索では、英語以外のロケールで「場所」が「未割り当て」として返されます。 | K1-19916 |
| E メールチケットの添付ファイルと、幅が 100 px 未満の画像が拡大されたため、サムネイルが元の画像よりも大きくなりました。 | K1-19909 |
| MSI ファイルはエージェントディレクトリではなく C:\windows\temp ディレクトリに置かれる可能性があります。 | K1-19908 |
| FileVault インベントリは APFS (Apple ファイルシステム) データを正しくレポートしていませんでした。 | K1-19897 |
| アップグレード後に バックアップ設定 ページが表示されませんでした。 | K1-19890 |
| ロールスコープ内のデバイスに対して、インベントリまたは Wake on LAN を強制できませんでした。 | K1-19889 |
| プロセスの親子チケットがカスタムフィールド値を保持できませんでした。 | K1-19886 |
| 新規プロセスの作成中にプロセスの説明を指定できませんでした。 | K1-19878 |
| サービスデスクの通知の詳細を表示 リンクが長いメッセージに対して機能しない場合があります。 | K1-19872 |
| 改行を含むサービスデスクの通知を編集することにより、編集のたびに改行が挿入されました。 | K1-19871 |
| 必要なフィールドがない場合、LDAP インポートがエラーを返すことなく失敗する可能性があります。 | K1-19867 |
| 多数のレプリケータが存在する場合、パフォーマンスに影響が出る可能性があります。 | K1-19865 |

| 解決済みの問題 | 問題 ID |
|---|------------|
| サービスデスクの E メール通知の HTML Markdown オプションでトークンが壊れました。 | K1-19858 |
| Dell アップデートカタログの比較レポートが正確でない場合があります。 | K1-19857 |
| ユーザーの E メールのアポストロフィが HTML コード `'` で置き換えられました。 | K1-19828 |
| ユーザー リストページで、ユーザーロケールでソートすると、エラーメッセージが表示されました。 | K1-19813 |
| ドライバをインストールすると、Dell アップデートで展開された特定のドライバでループが発生しました。 | K1-19803 |
| 生成された PDF レポートにカスタムロゴが正しく表示されませんでした。 | K1-19774 |
| 資産インポートのステップ 2/4 の資産サブタイプ：ファイル名にアポストロフィが含まれている場合に、ドロップダウンメニューが表示されませんでした。 | K1-19773 |
| ユーザーがチケットを表示する権限を持っていない場合でも、チケットリストのすべてのキュービューにチケットが表示されました。 | K1-18687 |
| Windows 8.1 パッチのパッチ検索に、Windows 8 パッチが含まれていました。 | K1-17979 |
| リストビューからパッチをアクティブとしてマークすることができませんでした。 | K1-17849 |
| パッチ検出スケジュールの作成により、Deploy All Patches (すべてのパッチの展開) フラグが True に設定されました。 | K1-17081 |
| Windows の Firefox/Chrome のダッシュボード上でドラッグアンドドロップが機能しないことがありました。 | ESMP-6104 |
| X 分ごとのスケジュールで 59 より大きい値を入力すると、予期しない動作が発生しました。 | ESMP-5963 |
| KACE GO を使用してチケットのクローンを作成すると、新たに作成されたチケットで関連するチケットが正しく更新されませんでした。 | ESMAS-4448 |
| 既存のサービスデスクチケットを作成するか開いたときに、KACE GO で無効な UTF8 文字のエラーメッセージが表示されました。 | ESMAS-4349 |
| 緊急の告知のカラースキームにより、コンテンツが読みづらくなりました。 | ESMAS-4310 |

既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

一般的な既知の問題

| 既知の問題 | 問題 ID |
|--|------------|
| <p>一部の Microsoft Windows デバイスで SNMP バージョン「SNMPv2c」を使用する際に、検出結果およびインベントリデータで SNMP ウォークデータを使用できません。影響を受ける Windows デバイスは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2016 (1709) • Windows Server 2016 (1803) • Windows Server 2019 <p>回避方法：この問題を回避するには、SNMP バージョン SNMPv1 を選択します。</p> | ESMEC-3263 |
| <p>エージェントが SLES v.15 上でエラーを伴ってインストールできません。</p> <p>回避方法：Red Hat と SuSE 上では、/usr/sbin/dmidecode および /usr/bin/lpstat アプリケーションとともに coreutils、pciutils、および rpm パッケージをインストールします。それらがインストールされない場合は、インストールされるまで、rpm パッケージはインストールできません。</p> <p>Ubuntu 上でも、正常に機能するために同じ要件が適用されますが、それらがインストールされない場合でも、パッケージは正しくインストールされます。ただし、すべての機能が期待どおりに動作するわけではありません。</p> | ESMEC-2987 |
| <p>SLES v.15 のエージェント不要モニタリングが機能しません。</p> <p>回避方法：この問題を回避するには、rsyslog パッケージをインストールします。</p> | ESMEC-2986 |
| <p>サービスデスクのチケットの詳細のコメント セクションは、コメントと添付ファイルを同時に追加するとクリアされません。</p> | ESMP-6672 |
| <p>Azure でホストされている KACE SMA コンソールで、/proc/net/route エラーが繰り返し発生します。これは無害な問題であるため、無視して構いません。</p> | ESMP-6540 |
| <p>エージェントデバイスの OS リリース ID が空白の場合があります。</p> | ESMP-6133 |
| <p>チケットの詳細 テキストエディタで大きなフォントを使用すると、重なり合う原因となります。</p> | ESMAS-4480 |
| <p>KACE GO : KB 記事に埋め込まれている添付ファイルは、添付ファイルの保護オプションが有効になっている場合は表示されません。</p> | ESMAS-4453 |
| <p>応答テンプレートおよびサービスデスク E メール通知は、リッチテキストをサポートしていません。</p> | ESMAS-4437 |
| <p>フランス語ロケールの デバイス リストページで アクションの選択 > 場所の変更 コマンドで、予期したとおりに 場所の変更 ダイアログボックスが表示されません。</p> | K1-20400 |
| <p>Azure プラットフォーム用のセットアップガイド：アプライアンスでパスワードなどの機密情報が送信されないようにするには、Azure で初めてアプライアンスを起動するときに SSL を有効にして、HTTPS を強制することをお勧めします。これは、セットアップガイドの英語版の章にのみ記載されており、ローカライズされたコンテンツには記載されていません。</p> | マニュアル |

システム要件

KACE SMA 9.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 9.0 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。KACE SMA 9.1 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合ををクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。

バージョン 9.1 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMAの技術仕様で確認できます。

- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在KACE SMAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SMAを使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。に移動して、適切なガイドを確認します。

i 注: バージョン9.1の製品ライセンスは、バージョン6.3以降を実行するKACE SMAアプライアンスでのみ使用できます。バージョン9.1のライセンスは、KACE SMAの旧バージョン (6.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [更新の準備](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)

i 注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMAサーバのバージョンの確認：

KACE SMA 9.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 9.0 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、サポートが必要な場合をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。

- KACE SMA エージェントのバージョンの確認

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。KACE SMA 9.1 で最新のエージェントバージョンを実行することをお勧めします。

- 開始前のバックアップ：

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。

アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート

管理者コンソールのダッシュボードページまたはアプライアンスの更新ページで、アドバタイズされたアップデートを使用してKACE SMAサーバをアップデートできます。



注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストからシステムを選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。



重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 9.1 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

6. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 9.1 にアップグレードします。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMA サーバを更新できます。

! **注意:** アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (9.1 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
 - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン 9.1 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

5. サーバのアップグレードが完了したら、すべてのエージェントをバージョン 9.1 にアップグレードします。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスのコントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソール にログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、アプライアンスのシステム管理コンソールにログインします。(http://KACE_SMA_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

注意: これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
 - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

テザリングが確立されている場合は、トークンがKACEサポートに提供される必要があります。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/9.1/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/9.1/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.1-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

Quest は、急速に変化するエンタープライズ IT の世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。当社は、Fortune 500 企業の 95 % や Global 1000 企業の 90 % など、100 か国 130,000 社にサービスを提供するグローバルプロバイダです。1987 年以来、データベース管理、データ保護、ID およびアクセス管理、Microsoft プラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Quest を使用することで、組織は IT 管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新により多くの時間を費やすことができます。詳細に関しては、「www.quest.com」を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

Quest の有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様、および試用版をお持ちのお客様は、テクニカルサポートをご利用いただけます。Quest サポート ポータルは、<https://support.quest.com> からアクセスできます。

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

© 2019 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept

4 Polaris Way



Aliso Viejo, CA 92656

Refer to our Web site (<https://www.quest.com>) for regional and international office information.

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2019 年 3 月

ソフトウェアバージョン - 9.1